実習チェックリスト

― 見学・評価・総合臨床実習共通 ―

北海道医療大学　リハビリテーション科学部

作業療法学科

入学年度　　年　　期生

学生番号　　学生氏名

経験疾患リスト（身体障害領域）

脳血管障害									
	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
□脳梗塞	□	□	□	□	□急性硬膜下・外血腫	□	□	□	□
□ラクナ梗塞	□	□	□	□	□慢性硬膜下血腫	□	□	□	□
□脳出血	□	□	□	□	□外傷性脳損傷	□	□	□	□
□くも膜下出血	□	□	□	□	□小脳梗塞	□	□	□	□
□低酸素脳症	□	□	□	□		□	□	□	□
運動器障害									
	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
□橈骨遠位端骨折	□	□	□	□	□TFCC損傷	□	□	□	□
□肩関節周囲炎	□	□	□	□	□屈筋腱断裂	□	□	□	□
□肩板断裂	□	□	□	□	□伸筋腱断裂	□	□	□	□
□上腕骨遠位端骨折	□	□	□	□	□手根管症候群	□	□	□	□
□上腕骨骨幹部骨折	□	□	□	□	□腰椎椎間板ヘルニア	□	□	□	□
□頚椎症	□	□	□	□	□腰部脊柱管狭窄症	□	□	□	□
□頚椎椎間板ヘルニア	□	□	□	□	□変形性膝関節症	□	□	□	□
□脊髄損傷	□	□	□	□	□アキレス腱断裂	□	□	□	□
□肘頭骨折	□	□	□	□	□肘関節内側側副靭帯損傷	□	□	□	□
□上腕骨外側上顆炎	□	□	□	□	□手指腱鞘炎	□	□	□	□
□肘部管症候群	□	□	□	□	□OPLL	□	□	□	□
□関節リウマチ	□	□	□	□	□母指CM関節症	□	□	□	□
□切断	□	□	□	□		□	□	□	□
神経変性疾患、脱髄性疾患、末梢神経障害									
	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
□筋委縮性側索硬化症	□	□	□	□	□ギラン・バレー症候群	□	□	□	□
□パーキンソン病	□	□	□	□	□多発性硬化症	□	□	□	□
□脊髄小脳変性症	□	□	□	□	□進行性核上性麻痺	□	□	□	□
□多系統委縮症	□	□	□	□	□その他（　　）	□	□	□	□
内部障害									
	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
□心疾患	□	□	□	□	□腎疾患	□	□	□	□
□呼吸器疾患	□	□	□	□	□悪性腫瘍	□	□	□	□
□糖尿病	□	□	□	□	□肺炎	□	□	□	□
□高血圧症	□	□	□	□	□その他（　　）	□	□	□	□
廃用症候群									
	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
□脳血管障害後遺症	□	□	□	□	□運動器疾患後遺症	□	□	□	□
	□	□	□	□		□	□	□	□
高齢期障害									
	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
□変形性関節症	□	□	□	□	認知症	□	□	□	□
□脊椎圧迫骨折	□	□	□	□	□脳血管性	□	□	□	□
□骨粗鬆症	□	□	□	□	□Alzheeimer型	□	□	□	□
□皮膚・眼疾患	□	□	□	□	□前頭側頭型（Pick病）	□	□	□	□
□うつ病	□	□	□	□	□Lewy小体型	□	□	□	□
□大腿骨頸部骨折	□	□	□	□		□	□	□	□
その他									
	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
□	□	□	□	□		□	□	□	□
□	□	□	□	□		□	□	□	□
□	□	□	□	□		□	□	□	□

備考

＊経験疾患にチェックしてください

＊4つの□は左から見学、評価、総合Ⅰ、総合Ⅱを表します。当てはまる□にチェックしてください

経験疾患リスト（精神障害領域）

統合失調症・気分障害

	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
統合失調症	□	□	□	□	気分障害	□	□	□	□
□急性期	□	□	□	□	□うつ病	□	□	□	□
□亜急性期	□	□	□	□	□躁うつ病（双極性障害）	□	□	□	□
□回復期	□	□	□	□	□持続性気分障害	□	□	□	□
□維持期	□	□	□	□		□	□	□	□
	□	□	□	□		□	□	□	□

神経症・パーソナリティー障害

	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
摂食障害	□	□	□	□	神経症性障害	□	□	□	□
□神経性無食欲症	□	□	□	□	□全般性不安障害	□	□	□	□
□神経性大食症	□	□	□	□	□パニック障害	□	□	□	□
パーソナリティー障害	□	□	□	□	□恐怖症性不安障害	□	□	□	□
□境界型	□	□	□	□	□心的外傷後ストレス障害	□	□	□	□
□妄想性	□	□	□	□	□適応障害	□	□	□	□
□回避性	□	□	□	□	□解離（転換）障害	□	□	□	□
	□	□	□	□	□身体化障害	□	□	□	□
	□	□	□	□	□心気障害	□	□	□	□
	□	□	□	□	□強迫性障害	□	□	□	□

器質性精神障害・発達障害

	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
□てんかん	□	□	□	□	認知症	□	□	□	□
□外傷性脳損傷	□	□	□	□	□脳血管性	□	□	□	□
□中毒	□	□	□	□	□Alzheimer型	□	□	□	□
□腫瘍	□	□	□	□	□前頭側頭型（Pick病）	□	□	□	□
□感染症	□	□	□	□	□Lewy小体型	□	□	□	□
	□	□	□	□		□	□	□	□
	□	□	□	□		□	□	□	□
	□	□	□	□		□	□	□	□

精神作用物質および中毒障害

	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
□アルコール依存	□	□	□	□	□薬物依存	□	□	□	□
	□	□	□	□	□覚醒剤中毒	□	□	□	□

児童・青年期の精神障害

	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
□神経症性障害	□	□	□	□	広汎性発達障害	□	□	□	□
□精神遅滞	□	□	□	□	□自閉症	□	□	□	□
□その他	□	□	□	□	□アスペルガー症候群	□	□	□	□
	□	□	□	□	□Rett症候群	□	□	□	□
	□	□	□	□	特異的発達障害	□	□	□	□
	□	□	□	□	注意欠如多動性障害	□	□	□	□

その他

	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
□	□	□	□	□		□	□	□	□
□	□	□	□	□		□	□	□	□
□	□	□	□	□		□	□	□	□

備考

＊経験疾患にチェックしてください

＊4つの□は左から見学、評価、総合Ⅰ、総合Ⅱを表します。当てはまる□にチェックしてください

経験疾患リスト（小児・発達領域）

肢体不自由									
	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
脳性麻痺	□	□	□	□	□重症心身障害	□	□	□	□
□片麻痺	□	□	□	□	□外傷性脳損傷	□	□	□	□
□両麻痺	□	□	□	□	□分娩麻痺	□	□	□	□
□対麻痺	□	□	□	□	□二分脊椎	□	□	□	□
□四肢麻痺	□	□	□	□	□先天性多発性関節拘縮症	□	□	□	□
□痙直型	□	□	□	□	□骨形成不全	□	□	□	□
□アテトーゼ型	□	□	□	□	□奇形・欠損	□	□	□	□
□弛緩型	□	□	□	□	□小児切断	□	□	□	□
□失調型	□	□	□	□	□筋ジストロフィー	□	□	□	□
	□	□	□	□	□水頭症	□	□	□	□
全身性疾患									
	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
□全身性エリテマトーデス	□	□	□	□	□内分泌・代謝異常	□	□	□	□
□多発性筋炎	□	□	□	□	□先天性心疾患	□	□	□	□
□Down症候群	□	□	□	□	□腫瘍性疾患	□	□	□	□
□プラダ―ウィリー症候群	□	□	□	□	□若年性関節リウマチ	□	□	□	□
□アンジェルマン症候群	□	□	□	□	□リウマチ熱	□	□	□	□
□他の遺伝子・染色体異常	□	□	□	□		□	□	□	□
発達障害									
	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
精神遅滞	□	□	□	□	広汎性発達障害	□	□	□	□
□軽度	□	□	□	□	□自閉症	□	□	□	□
□中等度	□	□	□	□	□アスペルガー症候群	□	□	□	□
□重度	□	□	□	□	□Rett症候群	□	□	□	□
□最重度	□	□	□	□	特異的発達障害	□	□	□	□
てんかん	□	□	□	□	注意欠如多動性障害	□	□	□	□
	□	□	□	□		□	□	□	□
その他									
	見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ		見学	評価	総合Ⅰ	総合Ⅱ
□	□	□	□	□		□	□	□	□
□	□	□	□	□		□	□	□	□
□	□	□	□	□		□	□	□	□

備考

＊経験疾患にチェックしてください

＊4つの□は左から見学、評価、総合Ⅰ、総合Ⅱを表します。当てはまる□にチェックしてください

実習（見学・評価・総合Ⅰ・総合Ⅱ）チェックリスト

見学・説明 ◫ ⊞ 模倣 ◧ 実施 ■

1-1.基礎項目（職場理解）

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
コミュニケーション	対象者にコミュニケーション障害なし	□	□	□	□	
	適切な態度（話すとき、聞くとき）をとれるか？状況に応じた適切な言葉遣いができるか？ TPOに応じた話ができるか？不快感を与えていないか？					
	対象者にコミュニケーション障害あり	□	□	□	□	
	適切な態度（話すとき、聞くとき）をとれるか？適切なコミュニケーション手段をとれるか？					
衛生	感染対策（本人）	□	□	□	□	
	感染対策（訓練場面）	□	□	□	□	
	十分な手洗いができるか？指示通りの感染予防行動がとれるか？清潔に注意できるか？					
物品	整理・整頓	□	□	□	□	
	物品管理	□	□	□	□	
	放置された物品に気づけるか？器具、物品を丁寧に取り扱えるか？指示通りの片づけができるか？					
診療補助	検査測定補助	□	□	□	□	
	指示通りのものを準備できるか？指示に素早く反応できるか？指示通り（正確、安全）に動けるか？ 指示通りの記録ができるか？状況変化を報告できるか？					
	作業療法補助	□	□	□	□	
	指示通りのものを準備できるか？指示に素早く反応できるか？指示通り（正確、安全）に動けるか？ 患者の状況変化に気づけるか？状況変化を報告できるか？					
	座位・立位練習補助	□	□	□	□	
	指示通りの位置で補助できているか？指示通りの部位を補助しているか？無理な体勢で補助していないか？ 周囲に注意を払っているか？					
動作介助	寝返り介助	□	□	□	□	
	起き上がり介助	□	□	□	□	
	床上移動介助	□	□	□	□	
	移乗一人介助	□	□	□	□	
	移乗複数介助	□	□	□	□	
	安全な環境で介助しているか？リスク確認ができているか？指示、説明ができるか？ 無理な体勢で介助していないか？介助部位は適切か？介助量は適切か？タイミングがあっているか？					
	車椅子介助	□	□	□	□	
	適切な方法で操作できるか？安全な操作ができるか（手足の巻き込み、適切な位置、ブレーキ、フットレストなどの確認）？周囲に注意を払っているか？					

見学・説明 □ ⊞ 模倣 ◧ 実施 ■

1-2.基礎項目(基本業務)

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
スケジュール管理	スケジュール作成・調整	□	□	□	□	
	□日課(入浴) □行事・支援活動 □他科受診 □変更連絡					
各種書類作成	訓練記録・管理	□	□	□	□	
	□処方箋 □評価報告書作成 □実施計画書作成 □経過記録作成 □日報作成 □カンファレンス資料作成					
	病棟・家族連携	□	□	□	□	
	□家族連絡ノート □病棟カンファレンス資料作成 □病棟指導資料作成					
	各種評価(依頼)報告	□	□	□	□	
	□姿勢・運動レベル評価報告資料作成 □摂食・身体機能評価報告資料作成					
診療補助	危険回避・状況報告	□	□	□	□	
	□注意 □状況説明・報告 □指示受け □緊急対応 □インシデント・アクシデント書類作成					

実習（見学・評価・総合Ⅰ・総合Ⅱ）チェックリスト

見学・説明 ◫ ⊞ 模倣 ◧ 実施 ■

2.評価項目（面接・観察・検査測定技術）

2-1.共通評価項目

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
情報収集	医学的情報	□	□	□	□	
	□X-p □MRI □血液検査 □既往歴 □現病歴 □その他					
	社会的情報	□	□	□	□	
	支援計画（家族ニーズ）	□	□	□	□	
面接	主訴	□	□	□	□	
	作業歴	□	□	□	□	
	生育歴	□	□	□	□	
	面接	□	□	□	□	
	目的は明確か？相手に不快を与えていないか？方法は適切か？必要なことを収集できているか？記録ができているか？対象者の観察ができているか？優先順位はきめられるか？					
	作業面接	□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
観察	観察	□	□	□	□	
	□身だしなみ □雰囲気 □表情 □姿勢 □服装					
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
バイタルサイン	全身状態の観察	□	□	□	□	
	□JCS □顔色 □表情 □皮膚状態 □体動					
	バイタルチェック	□	□	□	□	
	□脈拍 □血圧 □体温 □呼吸数 □SpO2					
	呼吸・発声	□	□	□	□	
	□触診 □聴診 □打診 □喘鳴 □喀痰 □構音					
その他の評価		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	

実習（見学・評価・総合Ⅰ・総合Ⅱ）チェックリスト

見学・説明 □ ⊞ 模倣 ◧ 実施 ■

2.評価項目（面接・観察・検査測定技術）

2-2.共通評価項目（心身機能・身体構造）

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
心理・症状検査	陰性症状	□	□	□	□	
	□SANS □PANSS □BPRS					
	陽性症状	□	□	□	□	
	□SAPS □PANSS □BPRS					
	不安	□	□	□	□	
	□BDI □SDS □CES-D □STAI □HAD					
	その他	□	□	□	□	
	□PONS □気分調査票 □SF-36 □GHQ					
	指示・説明ができるか？理解度に応じた教示ができるか？方法は適切か？実施中の観察ができるか？記録ができるか？					
形態測定	四肢長	□	□	□	□	
	周径	□	□	□	□	
	浮腫・腫張	□	□	□	□	
	変形の記述	□	□	□	□	
	適切な検査肢位の設定・変換ができるか？ランドマークの確認ができるか？メジャーの使用は適切か？記録ができるか？不快感（時間のかかり過ぎなど）を与えていないか？					
反射	深部腱反射	□	□	□	□	
	病的反射	□	□	□	□	
	□ホフマン □トレムナー □ワルデンベルグ □バビンスキー					
	適切な肢位ができるか？十分に脱力させることができるか？刺激部位は正しいか？ハンマーの使い方は適切か？正しく判定できるか？記録ができるか？不快感（時間のかかり過ぎなど）を与えていないか？					

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
知覚検査	表在覚	□	□	□	□	
	□Semmes Weinstein test □動的2点識別 □静的2点識別 □Moberg pick up test					
	深部覚	□	□	□	□	
	□位置覚 □運動覚 □母指探し試験					
	複合覚	□	□	□	□	
	疼痛（VAS）	□	□	□	□	
	指示・説明ができるか？検査器具を正しく使用できるか？刺激は適切か？正しく判定できるか？記録ができるか？不快感（時間のかかり過ぎなど）を与えていないか？					
筋緊張	筋緊張	□	□	□	□	
	□痙縮 □固縮 □痙固縮 □低下					
	姿勢筋緊張	□	□	□	□	
	□背臥位 □側臥位 □腹臥位 □座位 □立位					
	正しく触診できるか？被動抵抗感の確認ができるか？正しく判定できるか？不快感（時間のかかり過ぎなど）を与えていないか？記録ができるか？					
姿勢反射	立ち直り反応	□	□	□	□	
	平衡反応	□	□	□	□	
姿勢分析	姿勢分析	□	□	□	□	
	□背臥位 □側臥位 □腹臥位 □座位 □立位					
関節可動域検査	肩・肘・前腕・手関節	□	□	□	□	
	手指	□	□	□	□	
	股・膝・足	□	□	□	□	
	頸部・肩甲帯・胸腰部	□	□	□	□	
		□	□	□	□	
	指示・説明ができるか？適切な検査肢位の設定・変換ができるか？無理な体勢で計測していないか？角度計の当て方は適切か？方法（基本軸・移動軸・運動方向・範囲）は適切か？目盛りを正しく読めるか？代償を抑制できるか？リスク管理しているか？記録できるか？不快感（時間のかかり過ぎなど）を与えていないか？					

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
筋力検査	MMT（上肢）	□	□	□	□	
	MMT（下肢）	□	□	□	□	
	MMT（体幹）	□	□	□	□	
	MMT（頸部）	□	□	□	□	
	握力・ピンチ力	□	□	□	□	
	指示・説明ができるか？適切な検査肢位の設定・変換ができるか？無理な体勢で計測していないか？角度計の当て方は適切か？方法（基本軸・移動軸・運動方向・範囲）は適切か？目盛りを正しく読めるか？代償を抑制できるか？リスク管理しているか？記録できるか？不快感（時間のかかり過ぎなど）を与えていないか？					
上肢機能検査	上肢機能	□	□	□	□	
	□STEF　□パーデューペグボード					
	リーチング	□	□	□	□	
	把持・ピンチ・巧緻性	□	□	□	□	
	道具操作	□	□	□	□	
	指示・説明ができるか？方法は適切か？実施中の観察ができるか？正しく計測できるか？記録ができるか？					
協調性検査	協調性検査	□	□	□	□	
	□鼻指鼻　□指耳　□膝打ち　□線引きテスト　□コップ把持　その他					
	指示・説明ができるか？適切な検査肢位の設定ができるか？記録ができるか？正しく判定できるか？不快感（時間のかかり過ぎなど）を与えていないか？					
片麻痺機能検査	片麻痺機能検査	□	□	□	□	
	□ブルンストロームテスト　□上田式片麻痺機能検査　□MFT □Fugl-Meyer assesment □SIAS					
	指示・説明ができるか？適切な検査肢位の設定・変換ができるか？記録ができるか？正しく判定できるか？不快感（時間のかかり過ぎなど）を与えていないか？					

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
高次脳機能検査	注意	□	□	□	□	
	□BIT □線分抹消 □線分二等分 □CAT □その他					
	視覚性認知	□	□	□	□	
	□VPTA □DTVP					
	言語	□	□	□	□	
	□PVT-R □WAB失語症検査 □SLTA □その他					
	行為	□	□	□	□	
	□SPTA □その他					
	記憶	□	□	□	□	
	□WMS-R □三宅式記名力検査 □リバーミード □その他					
	遂行機能・前頭葉	□	□	□	□	
	□BADS □WCST □TMT □FAB □その他					
	指示・説明ができるか？理解度に応じた教示ができるか？方法は適切か？実施中の観察ができるか？記録ができるか？					
発達検査	JDDST=R	□	□	□	□	
	遠城寺式乳幼児分析的発達検査	□	□	□	□	
	GMFCS-E&R	□	□	□	□	
	MAT（上肢）	□	□	□	□	
	MAT（下肢）	□	□	□	□	
	KIDS	□	□	□	□	
	津守・稲毛式乳幼児精神発達診断	□	□	□	□	
	新版K式発達検査2001	□	□	□	□	
	新版S-M社会生活能力検査	□	□	□	□	
		□	□	□	□	
	指示・説明ができるか？理解度に応じた教示ができるか？方法は適切か？実施中の観察ができるか？記録ができるか？					

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
知能検査	HDS-R	□	□	□	□	
	WAIS-R/WAIS-Ⅲ	□	□	□	□	
	コース立方体検査	□	□	□	□	
	田中ビネー知能検査	□	□	□	□	
	WISC-Ⅲ/WISC-Ⅳ	□	□	□	□	
	WPPSI	□	□	□	□	
	K-ABC/K-ABCⅡ	□	□	□	□	
		□	□	□	□	
	指示・説明ができるか？理解度に応じた教示ができるか？方法は適切か？実施中の観察ができるか？記録ができるか？					
感覚統合検査	SCSIT	□	□	□	□	
	SCPNT	□	□	□	□	
	JMAP	□	□	□	□	
	JSI-R	□	□	□	□	
	JPAN	□	□	□	□	
	指示・説明ができるか？理解度に応じた教示ができるか？方法は適切か？実施中の観察ができるか？記録ができるか？					
認知症検査	臨床的認知症尺度（CDR）	□	□	□	□	
	NM-スケール	□	□	□	□	
	統合失調症認知機能簡易評価尺度（BACS）	□	□	□	□	
	HDS-R	□	□	□	□	
	MMSE	□	□	□	□	
	DBD	□	□	□	□	
	VI	□	□	□	□	
	指示・説明ができるか？理解度に応じた教示ができるか？方法は適切か？実施中の観察ができるか？記録ができるか？					

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
その他の検査		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	

実習（見学・評価・総合Ⅰ・総合Ⅱ）チェックリスト

見学・説明 □ ⊞ 模倣 ◧ 実施 ■

2.評価項目（面接・観察・検査測定技術）

2-3.共通評価項目（活動・参加）

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
基本動作・移動	寝返り	□	□	□	□	
	起き上がり	□	□	□	□	
	座位	□	□	□	□	
	立ち上がり	□	□	□	□	
	移乗	□	□	□	□	
	車椅子駆動	□	□	□	□	
	歩行	□	□	□	□	
	□床上動作 □杖歩行 □歩行器 □手すり □段差 □階段					
ADL	食事	□	□	□	□	
	摂食・嚥下	□	□	□	□	
	□VF □頸部触診 □触診 □水飲みテスト □唾液飲み込みテスト					
	更衣	□	□	□	□	
	排泄	□	□	□	□	
	整容	□	□	□	□	
	入浴	□	□	□	□	
	□観察 □作業遂行分析 □動作分析					

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
ADL	COPM	□	□	□	□	
	OSAⅡ	□	□	□	□	
	老研式活動能力指標	□	□	□	□	
	AMPS	□	□	□	□	
	観察　動作分析	□	□	□	□	
	コミュニケーション技能	□	□	□	□	
	ACIS	□	□	□	□	
	障害老人の日常生活自立度	□	□	□	□	
	要介護度（介護保険）	□	□	□	□	
	Barthel Index	□	□	□	□	
	FIM weeFIM	□	□	□	□	
	PEDI	□	□	□	□	
	JASPER	□	□	□	□	
	指示・説明ができるか？理解度に応じた教示ができるか？方法は適切か？実施中の観察ができるか？記録ができるか？					
IADL	掃除	□	□	□	□	
	調理	□	□	□	□	
	洗濯	□	□	□	□	
	金銭管理	□	□	□	□	
	買い物	□	□	□	□	
	外出	□	□	□	□	
	各種手続き	□	□	□	□	
	□観察　□作業分析　□動作分析					
	FAI	□	□	□	□	
	FAM	□	□	□	□	
その他	余暇活動	□	□	□	□	
	地域活動	□	□	□	□	

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
福祉用具	装具適合	□	□	□	□	
	車椅子適合	□	□	□	□	
	□ポジショニング　□クッション適合　□テーブル適合　□操作性　□故障					
	家屋評価	□	□	□	□	
就労	作業遂行能力評価	□	□	□	□	
		□	□	□	□	
社会性	社会性評価	□	□	□	□	
	□ABS　□S-M					
作業の評価	作業の分析	□	□	□	□	
	遊びの分析（観察）	□	□	□	□	
	□感覚運動遊び　□構成遊び　□社会的遊び					
社会生活能力評価	JAOTアセスメント	□	□	□	□	
	精神障害者社会生活評価尺度（LASMI）	□	□	□	□	
	精神科リハビリテーション行動評価尺度（REHAB）	□	□	□	□	
	機能の全体的評定尺度（GAF）	□	□	□	□	
	観察する環境は適切か？採点方法は適切か？記録ができるか？					
QOL評価	WHO/QOL26	□	□	□	□	
	SF-36	□	□	□	□	
その他の検査		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	

実習（見学・評価・総合Ⅰ・総合Ⅱ）チェックリスト

見学・説明 □ ⊞ 模倣 ◧ 実施 ■

2. 評価項目（面接・観察・検査測定技術）

2-4.共通評価項目(環境因子・個人因子)

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
環境因子	作業歴・作業の遂行	□	□	□	□	
	日常生活パターン	□	□	□	□	
	役割チェックリスト	□	□	□	□	
	OCAIRS	□	□	□	□	
	Occupational Questionnaire	□	□	□	□	
	包括的環境要因調査表	□	□	□	□	
個人因子	興味・価値観	□	□	□	□	
	LOC	□	□	□	□	
	自己効力感	□	□	□	□	

実習（見学・評価・総合Ⅰ・総合Ⅱ）チェックリスト

見学・説明 ◫ ⊞ 模倣 ◧ 実施 ■

3. 治療技術項目

3-1.共通治療項目(基礎技法)

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
物理療法	ホットパック	□	□	□	□	
	バイブラバス	□	□	□	□	
	交代浴	□	□	□	□	
	アイシング	□	□	□	□	
	電気治療	□	□	□	□	
		□	□	□	□	
	リスク確認ができるか？手順･リスクを説明できるか？治療部位の確認ができるか？適切な操作ができるか？治療後の状態確認ができるか？					
手工芸等	陶芸	□	□	□	□	
	手工芸	□	□	□	□	
	木工	□	□	□	□	
	タイルモザイク	□	□	□	□	
	編み物	□	□	□	□	
	革細工	□	□	□	□	
	作業分析	□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
	リスク確認ができるか？手順･リスクを説明できるか？治療部位の確認ができるか？適切な操作ができるか？治療後の状態確認ができるか？					

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
集団	レクリエーション	☐	☐	☐	☐	
	スポーツ	☐	☐	☐	☐	
	行事	☐	☐	☐	☐	
		☐	☐	☐	☐	
		☐	☐	☐	☐	
		☐	☐	☐	☐	
	障害に合わせた活動を提供できるか？リスクが確認できるか？必要な道具を準備できるか？障害に合わせた適切な指導ができるか？					
社会心理的アプローチ	心理教育	☐	☐	☐	☐	
	グループワーク（話し合い）	☐	☐	☐	☐	
	SST	☐	☐	☐	☐	

実習（見学・評価・総合Ⅰ・総合Ⅱ）チェックリスト

見学・説明 □ ⊞ 模倣 ◧ 実施 ■

3. 治療技術項目

3-2.共通治療項目(心身機能・身体構造)

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
関節可動域訓練	肩甲帯/肩関節	□	□	□	□	
	□自動運動 □他動運動 □自動介助運動					
	肘関節	□	□	□	□	
	□自動運動 □他動運動 □自動介助運動					
	手関節	□	□	□	□	
	□自動運動 □他動運動 □自動介助運動					
	指関節	□	□	□	□	
	□自動運動 □他動運動 □自動介助運動					
	股関節	□	□	□	□	
	□自動運動 □他動運動 □自動介助運動					
	膝関節	□	□	□	□	
	□自動運動 □他動運動 □自動介助運動					
	足関節	□	□	□	□	
	□自動運動 □他動運動 □自動介助運動					
	適切な指示、説明ができるか。方法(把持、肢位、固定、運動方向、範囲、強さ、速さ)は適切か？ リスク管理できているか(痛みの確認、正しい運動範囲の確認)？					
筋力訓練	従手的強化	□	□	□	□	
	□等張性収縮訓練 □等尺性収縮訓練					
	指示・説明ができるか？手肢(把持、肢位、固定、抵抗方向、抵抗量、抵抗部位、回数、運動速度)は適切か？					
	重錘、ゴム等を利用	□	□	□	□	
	握力訓練	□	□	□	□	
	ピンチ力訓練	□	□	□	□	
	指示・説明ができるか？方法(肢位、固定、運動方向、負荷量、抵抗部位、回数、運動速度)は適切か？ 用具の使用は適切か？正しい運動の確認、誘導ができるか？リスク管理はしているか？					

知覚訓練	知覚再教育（ミラー含む）	□	□	□	□	
	脱感作療法	□	□	□	□	
	指示・説明ができるか？方法（肢位、部位、時間）は適切か？器具の使用は適切か？痛みの状況を確認できるか？リスク管理しているか？					
高次脳機能障害に対する訓練	直接的、反復的訓練	□	□	□	□	
	□Attention Process Training（APT） □プリズムアダプテーション □視覚認知 □その他（ ）					
	代償的訓練	□	□	□	□	
	□自己教示法 □外的補助手段の利用（メモリーノートなど） □その他（ ）					
	適切な指示、説明ができているか？ 適切な課題や代償方法の選択、課題の段階づけ、フィードバックができているか？					
身体機能に対する治療技法	神経筋促通手技	□	□	□	□	
	痙性抑制手技	□	□	□	□	
	ストレッチ	□	□	□	□	
	指示、説明は適切か。手技（肢位、固定、運動方向、回数、速度）は適切か？リスク管理できるか？					
	リラクゼーション	□	□	□	□	
	ポジショニング	□	□	□	□	
	指示、説明は適切か。手技（肢位、クッションの使用方法）は適切か？リスク管理できるか？					
	姿勢反射促通	□	□	□	□	
	指示・説明ができるか？手技（反射の種類、誘発方法、回数）は適切か？リスク管理しているか？					
	巧緻性運動	□	□	□	□	
	持久・耐久性訓練	□	□	□	□	
	□座位 □立位					
	リスク管理しているか？中止基準を理解しているか？患者の変化を観察できるか？段階づけできるか？					
	治療体操（腰痛体操など）	□	□	□	□	
	失調症への治療	□	□	□	□	
	□重錘負荷 □弾性包帯装着 □PNF					

	有酸素運動	□	□	□	□	
	□上肢のみ　□全身					
	その他	□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
精神機能に対する治療技法	SST	□	□	□	□	
	回想法	□	□	□	□	
	認知行動療法	□	□	□	□	
	心理教育	□	□	□	□	
	学習療法	□	□	□	□	
	指示、説明ができるか。実施する環境等は適切か？実施中の観察ができるか。リスク管理できているか？					
	認知矯正療法	□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	

実習（見学・評価・総合Ⅰ・総合Ⅱ）チェックリスト

見学・説明 □ ⊞ 模倣 ◧ 実施 ■

3. 治療技術項目

3-3.共通治療項目(活動・参加)

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
基本動作訓練	寝返り	□	□	□	□	
	起き上がり	□	□	□	□	
	床上移動	□	□	□	□	
	座位保持	□	□	□	□	
	Kneeling	□	□	□	□	
	立ち上がり	□	□	□	□	
	立位保持	□	□	□	□	
	移乗	□	□	□	□	
	車いす駆動	□	□	□	□	
	歩行	□	□	□	□	
	□杖歩行 □歩行器 □手すり □段差 □階段					
ADL訓練	食事	□	□	□	□	
	摂食・嚥下	□	□	□	□	
	更衣	□	□	□	□	
	排泄	□	□	□	□	
	整容	□	□	□	□	
	入浴	□	□	□	□	
IADL訓練	掃除	□	□	□	□	
	調理	□	□	□	□	
	金銭管理	□	□	□	□	
	買い物	□	□	□	□	
	外出	□	□	□	□	
	各種手続き	□	□	□	□	
	余暇活動	□	□	□	□	

補装具・福祉機器の利用	自助具の選択と改善	□	□	□	□	
	自助具の作成と適合	□	□	□	□	
	意思伝達装置の利用	□	□	□	□	
	スイッチの作成、適合	□	□	□	□	
	スプリンティング	□	□	□	□	
	□コックアップスプリント □対立型スプリント □アウトリガースプリント □クライナートスプリント □指装具					
就労・就学	職業関連動作	□	□	□	□	
	学習支援	□	□	□	□	
	求職活動	□	□	□	□	
	復職	□	□	□	□	
	就学	□	□	□	□	
	復学	□	□	□	□	
		□	□	□	□	

実習（見学・評価・総合Ⅰ・総合Ⅱ）チェックリスト

見学・説明 ◫ ⊞ 模倣 ◧ 実施 ■

3. 治療技術項目

3-4.共通治療項目(相談･指導技術)

体験項目		臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	コメント
	地域連携	□	□	□	□	
	自動車運転相談	□	□	□	□	
	外泊時の様子の把握	□	□	□	□	
	退院時指導	□	□	□	□	
	家族指導	□	□	□	□	
	社会資源の紹介	□	□	□	□	
	福祉用具の選定	□	□	□	□	
	日課やスケジュールの調整	□	□	□	□	
	生活における禁忌事項の指導	□	□	□	□	
	家屋調査	□	□	□	□	
	住宅改修	□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	
		□	□	□	□	

実習（見学・評価・総合Ⅰ・総合Ⅱ）チェックリスト

見学・説明 ◫ ⊞ 模倣 ◧ 実施 ■

5 その他(自由記載欄)

体験項目	臨床見学	評価実習	総合臨床Ⅰ	総合臨床Ⅱ	日付/サイン
	□	□	□	□	
コメント					
	□	□	□	□	
コメント					
	□	□	□	□	
コメント					
	□	□	□	□	
コメント					
	□	□	□	□	
コメント					
	□	□	□	□	
コメント					
	□	□	□	□	
コメント					
	□	□	□	□	
コメント					
	□	□	□	□	
コメント					
	□	□	□	□	
コメント					
	□	□	□	□	
コメント					
	□	□	□	□	
コメント					
	□	□	□	□	
コメント					
	□	□	□	□	
コメント					

北海道医療大学